時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報には每號詳細なる商況物價の報告あり

明治廿八年十月十七日　木曜日　(丁酉)
(西暦一千八百九十五年)
二百九十日　七十五日

時事新報

支那の外交及び貿易

若しも支那が日本と相提携して共に東洋の事を談ずるの資格を有せんには誠に雙方の仕合なれども今日までの模様にては政治上の友として甚だ頼み少なきが如し統一の業未だ全からざるの姿ありて中央政府の威信重からず其命令は四方に行はれずして恰も我幕末の形勢を示し國の頭腦も實際何れの邊に存するか明かならざる場合さへなきに非ず例へば先年佛朗西との戰爭に於て南方には烈しき戰行はれて南洋艦隊は散々に打破られたれども北洋艦隊は對岸の火災視して急に赴かず甚しく北洋に横はりて安を偸み又今回の日清戰爭には北方に於て屢々激戰あり連戰連敗して國の存亡旦夕に迫りたれども南洋艦隊は殆んど關り知らざるもの〻如く只傍觀したるのみ彼の廣丙艦長程璧光が釋されて威海衛を立去るとき我艦隊司令官に向ひ今度の戰は北洋の戰にして南洋の知る所に非ず其一二艦の戰場に在りしは戰はんが爲め來りしに非ず偶て檢閲の爲め北方に呼び寄せられし際たま〳〵戰爭起りて餘儀なく其内に加はりしものなれば日本に對して恩怨なし願くは南洋の殘艦一隻を我に賜はる可しと云ひしが如きは正に支那の國情を説明したるものと云ふ可し然かのみならず約に背き信を破るは支那外交の常にして阿片戰爭のときには二たび英國を欺きたり英軍の舟山嶋を占領し[illegible]逼るや清廷は詐りて和を媾ぜんと欲し伊里布をして英の領事エリオツトに天津に會して事を議せしめ伊里布は巧みにエリオツトをして廣東に赴き廷議の決するを待たしむ迄れば則ち清國全權の一人琦善なる者出で〻尊遇し香港を與ふ可しなど約束して兎角時日を遷延し其間に兵備を修めて略ぼ整ふを見るや伊里布、琦善は全權なきに叨りに和を議したるものなりとして兩人を貶し以て再び戰を開きたり英軍大に立腹して廣東を攻め清兵を破りたれば再び和を議し清は六百萬弗の償金を拂ひ英は占領地を還附するの約を結び各々兵を引き揚げしに清軍は不意に廣東砲臺の英の守備兵を襲撃し賞を懸けて英人の首級を募れり更に英佛同盟軍の支那征伐史を見れば一層明かに支那外交の眞相を窺ふを得べし同盟軍の進んで天津に入るや清廷は桂良、花沙納の兩人を全權使臣として和を天津に議せしめ[illegible]したれば英佛使臣は批准交換の爲め其翌年北京に赴かんとて白河に至りしに清國官吏の約を守りて北京に來り迎ふる者なきのみならず人民は杭を河口に立て[illegible]行を妨害し遂に衛兵と砲臺との間に砲戰を見るに至りしかば英佛は其不信を責めて天津條約の[illegible]行を求めしに清廷は之を拒否したり同盟軍の進んで天[illegible]桂良及び花沙納の兩使は再び兩軍の全權と和議を結ばんとしたれども清使の全權を有せざるのみか及び此兩使は清國の謀略にして時日を遷延し[illegible]んが爲めなるみと判然したるを以て事復た破れたれば今度は恭親王出で〻和を請ひたれども清軍は盛に軍容を張り恭親王の許に赴かんとせし同盟軍の使者を捕へ且つ同盟軍を攻撃したれば議又々破れて遂に城下の盟を爲すに至れり斯の如く支那の外交は反覆常なきのみならず國内の統一さへ出來ざる程の次第なれば如何なる約束を結ぶも力を以て強行を促すに非ざれば無效に歸するみとなる可く東洋の政事を談ずるにも我は相手を遠き西洋に求めざる可らず甚だ遺憾なれども然れども商賣の相手としては支那は實に無量の價ある國として貴ばざる可らず政府の歳入は僅かに七千四百五十萬兩にして甚だ富有ならざるが如しと雖も其富有ならざるは只政府のみ四百廿一萬八千方哩の廣大なる領土は至る所豐饒にして各種の農産物に富み茶、生絲、米、綿、豆類は申すに及ばず銅鐵の鑛山も多く特に石炭の如きは十八省中、所として之あらざるはなく恐くは世界第一の石炭國なる可しと云ふ四億二百萬の人民皆勤儉にして富有なるは十目の見る所にして幾千萬兩又は幾億兩の富豪大家少なからざるを見ても之を證す可し特に世界の他の部分は既に開拓して遺利も多からざる可しと雖も支那の開拓は今や創業の際にして商賈工業は是より益々發達して前途の望みは洋々として春の海の如くなるが中にも日本は彼と相距る甚だ近くして交通往來に於て他の及ばざる便利を有するのみならず日本古代の文明は支那より輸入したるもの多きが故に風俗、慣習、嗜好に於て相類するもの今尚は少なからず若し此特別の便利を利用し支那人の不器用にして文明の智識なきに乘じ我優美にして輕便なる製品の販路を開かば我國民が全力を擧て支那貿易品を製造するも尚ほ其不足を感ずるの時ある可し然るに我國民の支那貿易を見るみと重からず今日までの進歩は滿足なりと云ふを得ず最近の調査に據れば英人の支那各港に在留する者は三千七百四十六人にして其商店は三百四十五、米人は一千二百九人にして其商店は二十七、獨逸人は六百六十七人にして其商店は八十二、佛朗西人は六百八十一人にして其商店は廿四、葡萄牙人は六百五十九人にして其商店は七、日本人は八百八十三人にして其商店は三十一なり又其貿易を見るに千八百九十三年の輸出入總額は凡そ二億六千八百萬兩にして內英國は凡を三千九百八十二萬、香港は一億二千九百十八萬、印度は千九百四十七萬、合衆國は千七百十六萬、日本は千七十九萬兩なり我と相距る僅かに一衣帶水の間に在り而かも其交通は最も古くして恰も師弟の如く又兄弟の如き關係を有せる大帝國に對する我居留民の斯くの如く少數にして其貿易の斯くの如く少額なるは寧ろ意外の事にして我國民の怠慢と云はざるを得ず蓋し政府の當局者も對清策を誤り其貿易を保護獎勵するの道を盡さず公使領事を撰ぶにも部内人物の繰り繰りを主として適任と否とを第二とし商人も多年籠居の習慣を脱する能はず内に小利を爭ふ其間に他國の商人は大膽に侵入して遂に今日の勢を馴致したるものならん已むを得ざる次第なれども今や戰勝の餘勢を以て日本も地位を強國の間に進め支那貿易に就ても種々の便利を得たるが上に政府も進んで保護獎勵に盡力するみとならんなれば商人も今までの小膽主義に安ぜず進で海外の地に外商と決戰するの覺悟なかる可らず戰爭の手際は如何にも立派なりしかども其結果は左まで面白き有樣にも非ざれば切めては通商上の新權理にても巧に利用して大勝利に稱ふ利益を收めざる可らず而して其新權理を利用して利益を收むるは商人の義務なれば兵士が滿州の野に奮戰せし勇氣を以て各開港場に商戰を戰ふみそ我商人の本分なる可きに事の實際を見れば甚だ奮はざるもの〻如し佛朗西の商人は支那に對して大に爲す所あらんと欲し夙に商業視察隊を派遣したれども我商人は意に介せざるもの〻如く英米の商人は逸早く上海に紡績會社を起したれども我商人は內外より促されて漸く昨今に至て事に着手し特に政府の節にては商業視察員を新開港場に派遣し我商人を誘ひたれども坐して其報告を待つ積りにや招きに應ずる者少なかりしと云ふ蓋し役人の視る所と商人の見る所とは自ら異なる所ありて人の報告のみにては隔靴搔痒の歎なき能はず身自ら實地を視察すれば種々の遺利を發見するともある可し我兵士の禮帽の前飾りとする白毛は元と香港より輸入したれども先年我商人が天津に赴きしに圖らずも右は天津邊の産なるみとを發見して爾來同地より之を輸入し又支那人が食事に箸を用ふるを見て獸骨にて製したる同品を輸出し煙管を用ふるを見てラオ竹を輸出し皆一の貿易品となりしと云ふ事小なれども亦以て實地視察の必要を知るに足る可し近年銀價下落して金貨國たる西洋の商品と競爭するの好機會にもあれば旁々以て大に奮發し戰勝の利益を商利に收めんみと我輩の切に希望する所なり

雜報

○京城特報

十月三日　小原生報

●軍相安駉壽氏の辭表奉呈

軍部大臣安駉壽氏は昨夜深更に至り突然一片の辭表を内閣に出したり而して其の理由とする所は病氣なりと云へども實際なるや否や知り難きを以て種々揣摩して説を傳ふるものあり曰く沈相薰氏と軋轢したるが爲めなりと然れども内閣中には近來軋轢すべき程のみとなし一任軋轢すべき程の事實ありとするも二氏共に如才なき人物なれば何ぞ輕々しく事端を開くべきや或は曰く運は過般來閣議中の板挾一件なりと板挾一件とは即ち侍衛隊新設訓練隊増設に付軍部豫算に非常なる影響を及ぼし此儘にては到底維持するみと能はざるを以て成るべく不急の事を避け以て其急需に應ぜんとの主旨より其名ありて其實を行はざる工兵隊なるものを廢し其豫算金額を以て不足を補はんと欲せり内閣員の大半之に賛し軍部顧問官ふれに贊し其他敢て異議なきもの〻如し是に於てか之を上奏し以て裁可を乞ふ大君主之を不可とし堅く執りて動かず偵の安氏も是には頗る窮し種々盡力する所ありしも他の事とは異なり大君主と豫算との間に板挾みとなりしみとなれば如何すべき様もなく遂に段方盡きて辭表を奉呈したりとの意なり或は曰く否安氏の辭表は政略的の辭表にして即ち安氏の愛氏たる特性を實にしたるものなりと何れか是なるや暫く聞くが儘を記す

●安氏の辭表

人は云ふ安駉壽氏は[illegible]
して然るや否やを知る[illegible]
の前後には必ず政海[illegible]
人は云ふ安駉壽氏は[illegible]
果して然るや否やを知[illegible]
の前後には必ず何等[illegible]
れば安氏は從來に於て[illegible]
見の明ある如くに適合[illegible]
亦斯の如くなるや否や[illegible]
の辭表に付ても人心必[illegible]
腐朽したる現立內閣は[illegible]
面して閔泳駿內閣組織[illegible]
ものあるも亦强ち無理[illegible]
一退は韓鮮の政海に[illegible]
云ふべし

●安氏の辭表に[illegible]

本日內閣會議に於て安[illegible]
たる末其決議を直に上[illegible]
て後兎も角も先づその[illegible]
らざりしよし

●軍相の●[illegible]

安駉壽氏の進退未だ定[illegible]
候補者に屆して軍相に[illegible]
く李鐘健、曰く李範[illegible]

●鑛山採[illegible]

平安道の鑛山採掘を米[illegible]
上に記載しありし爲め[illegible]
し其他二三要路者に[illegible]
風說となし異に斯の[illegible]
ば誤傳なるべしと信[illegible]
此程鑛山技師ブラウ[illegible]
く〜一片の事實として[illegible]
今其始末を探ぜんに[illegible]
に鐵道を布設せんとの[illegible]
の受負を爲さしめ以て[illegible]
間多少の資金と勞苦[illegible]
如何なる都合にや忽[illegible]
於てモース氏の苦心[illegible]
みとして一片の契約[illegible]
る沙汰もなかりし故に[illegible]
費一萬圓を請求した[illegible]
き樣なく終にその代[illegible]
業を受負しめ以て其[illegible]
期限は二十五箇年間[illegible]
を除くの外は何人も[illegible]

●獨逸領事[illegible]

右の風聞に接し獨逸[illegible]
我國人にも亦鑛山採[illegible]
乞ふと述べたるに外部[illegible]
其後當局者に對して其[illegible]
宮中の人が受負はしめ[illegible]
るべき筈なしと答へ[illegible]
を以て回答したるな[illegible]

●黃海道匪[illegible]

匪徒蜂起の實狀に至[illegible]